

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第9号 発行日：平成24年12月1日
発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
発行人：植木昌昭 編集：石崎純也・佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

目次：

「富士山登山」 ～理事長 吉田謙司～	1
A【安心】 「高齢者のよろず相談所」 ～地域包括支援センターを知ろう～	2
S【サプライズ】 突然 花庭に野菜の苗が出現！	2
A【アミューズメント】 黒川に生まれた学びといこいの農場。 地域との共生をめざした活動に期待！	3
O【お元気ですね】 バイオリンに熱中 音色は元気の源 “希望の星” 102歳のシヅさん	3
第4回区民講師・公開講座 一覧 ・やまゆりスタッフ紹介 Vol.3	4

富士山登山

麻生 区でも天気の良い日に、富士山が見られるのをご存知でしたか。特に、千代ヶ丘5丁目勝坂からの眺望は抜群です。

私も、8月に単独で富士山へ行ってきました。これから登山する人、下山してきた人、観光の人と、富士吉田口の五合目では人・ひと・ヒトの渦、若い人が多いのに驚きました。外国人もちろほら、家族連れもいて、年間登山者は30万人に達します。季節が7月下旬から8月中に限られていますので、単純に1日8千人弱の人々が登山することになります。

富士登山の歴史は、聖徳太子が馬で登ったという伝説（吉田口山小屋「太子館」）は別として、平安・鎌倉時代には竹取物語にも記されており、室町時代から信仰登山がされています。

また、江戸時代には「富士講」によるツアー登山が盛んになり、庶民は江戸の町々に“富士塚”〔疑似富士山〕をつくり手軽に“富士山”に登っていました。

日本人として「富士山」に対する思いは人それぞれあり、退職後、富士登



千代ヶ丘「勝坂」から富士を望む

山を毎日して1000回の登頂を果たしたという元教師の姿がNHKで放映されていました。

山での登降で、行きかう人に「こんにちは！」と挨拶をしますが、これは狭い登山道を譲り合いコミュニケーションを交わすことでお互いに励ましあい、気持ち良く、安全登山を心がけようとのことからです。

「麻生市民交流館やまゆり」には多くのスタッフの方々が、ボランティア活動をしています。ここでも「こんにちは！」という声が弾みます。

「やまゆり」には多くの出会いと楽しいコミュニケーションがあります。皆さんもボランティア活動を試してみませんか。今年もメンバーを募集します。多くの方々が参加されることを期待いたします。

理事長 吉田謙司

あなたの時間を少しだけ、かしてください！

やまゆり運営スタッフ募集

今年も若干名の募集（6次）を行います。既に、40名の方々が活躍されています。つきましては、業務概要の説明会を行いますので、応募される方は参加ください。（必須）



市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」は、麻生区を生活・活動の場としている人々がさまざまな活動を行うための施設です。すべて市民ボランティアで運営されています。

●説明会
日時：1月20日（日）10時～11時
場所：麻生市民交流館やまゆり 2階会議室

●申込み
・1月12日（必着）まで
・氏名、住所、電話、Eメールアドレス（必須）
・ファックス、はがき、電話で下記までご連絡ください。
・または、ご来館のうえお申込みください。

麻生市民交流館やまゆり
運営組織 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 麻生区上麻生1-11-5
☎ 044-951-6321 Fax 044-951-6467
ホームページ http://web-asao.jp/yamayuri/

♡やまゆり運営スタッフ募集♡

- 説明会（応募される方は必ず説明会に出席してください）
 - ・日時：2013年1月20日（日）10時～11時
 - ・場所：麻生市民交流館やまゆり 2階会議室
- 申込み
 - ・氏名、住所、電話、メールアドレス（必須）を明記しファックス、はがき、電話で下記までご連絡ください。
 - ・締切 2013年1月12日（必着）
 - または、ご来館のうえお申込みください。

【申込み先】

麻生市民交流館やまゆり
運営組織 NPO法人 あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 麻生区上麻生1-11-5 ☎044-951-6321 FAX. 044-951-6467
URL <http://web-asao.jp/yamayuri/>





「高齢者のよろず相談所」

～地域包括支援センターを知ろう～

65歳以上が人口の21%をこえると超高齢社会と呼ぶ。2012年4月1日現在、麻生区は19.08%、わが国は23.7%である。

長生きすることは喜ばしいが、高齢者が地域で安心して暮らし続けるには課題も多い。

その課題を解決するための相談に乗ってくれるのが地域包括支援センターである。

川崎市は麻生区を7つの地区に分けて、それぞれに支援センターを設置している。提供するサービスは基本的にはどこも同じである。

2012年2月に開設した高石地域包括支援センターを取材した。

百合ヶ丘駅から4分と至近な距離にある支援センターには、専門分野を受け持つ4名のスタッフが配置されている。センター長と主任介護支援専門員を兼ねる福井さんと介護支援専門員の

西村さんはケアプランを作成する地域ケアマネジャーの支援や地域ケアネットワークづくりを。社会福祉士の伊藤さんは認知症高齢者の権利を守る成年後見制度の紹介、高齢者の虐待、振り込め詐欺や悪質商法の被害の予防を。また、看護師の桜井さんは健康の維持、介護予防のためのイベントや仲間づくり、個人生活プラン作成のアドバイス。それぞれの専門知識を活かし業務分担をしている。一方、4人は専門分野をこえて、相互に連携・協力して相談者のたらい回しを回避していると言う。

福井センター長は「ご近所のおじいちゃん、おばあちゃん、そして支えるご家族の『よろず相談所』です。お困り、悩みごとなどお気軽にご相談を、フットワークのよさが自慢です。何処へでも出かけます」と意欲満々。高齢者のこころ強い味方である。

◎麻生区の地域包括支援センター

●新百合地域包括支援センター

☎044-969-3388

●柿生アルナ園地域包括支援センター

☎044-989-5403

●百合丘地域包括支援センター

☎044-959-6522

●栗木台地域包括支援センター

☎044-988-5160

●片平地域包括支援センター

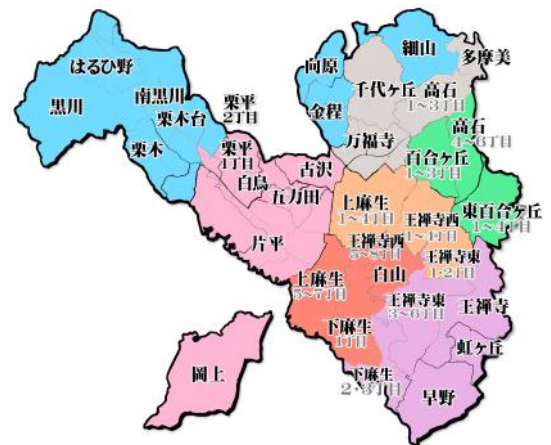
☎044-986-4986

●地域包括支援センター「虹の里」

☎044-986-4088

●高石地域包括支援センター

☎044-959-6020



取材・文 竹市八郎



Surprise サプライズ

突然 花庭に野菜の苗が出現！

2年前の10月、しらかし園のフェスタに出店していた環境を考え行動する会から「ダンボールコンポストのキット」を2000円で買った。

家庭の生ごみを毎日それに入れていくと微生物で分解されて堆肥になるというのだ。普通ごみの日に出す台所からの家族5人分の生ごみは意外に重い。どうにかならないかと思っていたところだった。虫も発生したがなんとか堆肥にできた。

昨年12月、植え替えるバラの苗の堆肥にした。今年5月そこから野菜の苗らしきものが生えてきた。間引きしても次々に生えてくる。カボチャとトマトだった。

6月環境を考える会の天野さんにお会いしたとき、「もしかしてダンボールコンポストの中にプレゼントで野菜の種をいれてありませんでしたか？」と聞いた。「それはあなたの生ごみの種から芽をだしたんで

すよ。微生物は生ごみを分解するけれど、生きている種などは分解しないんです。」と天野さん。

サプライズ！私が捨てた生ごみから野菜が食べられるとは驚きだった。

ほったらかしの野菜であったが、カボチャは2個収穫。9月にはピーマンが出現。トマトは11月になってもなっている。次に何が出てくるのか楽しみにもなった。

子ども達にも野菜の育つ様子を見せることができていい経験だった。現在2個目のダンボールコンポスト実践中。

環境を考え行動する会

〒215-0023

川崎市麻生区片平5-31-1

☎ & FAX 044-988-9474 (天野)

e-mail kankyo-act@web-k.jp

URL <http://web-k.jp/kankyo-act/>



▲我が家の8月のダンボールコンポスト



▲つつじの垣根の上にカボチャ

写真・文 丸山とし子



Amusement アミューズメント

黒川に生まれた学びとこいの農場。 地域との共生をめざした活動に期待！

2012年4月、黒川の里山の一角に明治大学黒川農場がオープンした。主に生田にある、同大学の農学部で学ぶ学生のための、実習農場である。広さは13ha。建物・農場地区と里山地区が半々を占め、農場は1.5ha。緑が濃い里山に囲まれた自然あふれる環境だ。開校当初から地域との共生をめざしており、川崎市や農協、農家と協力して、農業技術の向上、特産品の開発など、多くの課題に取り組んでいる。そのひとつとして6月に一般の方むけの農業講座をはじめている。



しっかり学んで、すくすく育つ野菜たち

この講座は、野菜づくりに関心のある人が、有機農業を学ぶものであり、2013年度も、年明け早々、電話で先着順に受け付ける。人気が高いので例年15分でいっぱいになるとのこと。取材した8月25日は、3時間にわたって、ニンジンの間引き、雑草とり、専用ポットへの秋野菜の種まき、次の作付けに備えた土づくりを学び、ナスとピーマンの収穫を楽しんだ。

毎年秋には収穫祭を行なうが、今後の予定として、場内にある自然生態園と展示温室の開放を計画している。特に自然生態園は、里山と場内にある池をめぐる遊歩道を整備中。佐倉副農場長によると、ここを巡りながら、季節に応じた草花や野鳥、ホタルのほか、絶滅が危惧されるノハナショウブや、ほとけどじょうとの出会いが、期待できるとのこと。

農場へは小田急多摩線の黒川駅で下車し、セレスモス前の農道をまっすぐ行き止まりまで進む。公共バスなどの便がないた



神奈川県産の木で造ったアカデミー棟
～休息室や自販機、トイレ、農機具などがあり、主に生涯教育講座の受講生が使用する～

め、畑や田んぼなどの田園風景を楽しみながら、徒歩にて1.6km、25分の行程となる。途中に案内の標識があるので、迷うことはない。詳しくは「明治大学黒川農場」で検索。

●明治大学 黒川農場

所在地:川崎市麻生区黒川 2060-1

電話: ☎ 044-980-5300

行き方: 小田急線黒川駅下車

徒歩 25分(交通機関なし)

講座についての問い合わせは明治大学 リバティアカデミー事務局(☎ 03-3296-4423)へ

2013年度前期パンフレット

【2013年2月完成予定】

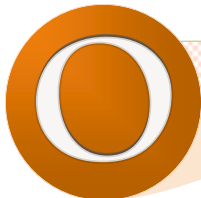
予約受付中！

申し込み: 明治大学リバティアカデミー事務局

☎ 03-3296-4423 FAX 03-3296-4542

e-mail academy@mics.meiji.ac.jp

取材・文 中島久幸



Ogenki-desune お元気ですね

バイオリンに熱中 音色は元気の源

小本忠さん(麻生区王禅寺西)は、仲間演奏を楽しむ団体「アンサンブル ゆり」で、バイオリンを弾いている。大正13年、北海道の生まれで、今年5月に満88歳を迎えた。

バイオリンとの出会いは、小学生の時。男の先生が弾くバイオリンの音色に惹かれた。結婚後も、その音へのあこがれを忘れられず、バイオリンを買い、教則本で練習をはじめた。

それ以来、バイオリンを弾き続けている。いまも、毎日、2時間の練習を欠かさない。小本さんは「仲間との練習も、施設訪問も楽しいです。耳が遠いのですが、不思議と、音はしっかり聴こえます」と、仲間との演奏を楽しみにしている。

妻の美恵子さんは目を細めて言う。「生きがいとして楽しんでいるようですので、私もうれしいです」。



「もっと、いい音が出せるまで続けます」

好物は刺身で、好き嫌いはない。小本さんに健康の源を聞くと、「犬の散歩で体を動かす、バイオリンを弾き、なんでも美味しく食べることですかね」と、笑顔で話した。

“希望の星” 102歳のシツさん



「俳句は110歳まで続けたいですね～」

俳句が趣味の田中シツさん(麻生区王禅寺西)は、明治43年、栃木県の生まれ。今年8月に満102歳を迎えた。

足を悪くしてからは、多摩区の特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」に入所している。耳が聴こえにくく、車椅子で生活しているが、会話はテキパキとしてユーモアたっぷりだし、声には張りがある。

俳句の習いはじめは、平成11年、89歳のときになる。麻生老人福祉センター(金程)の俳句講座に参加した後、先生の勧めで、地元麻生の俳句結社「さざなみ」の句会「如月

会」の会員になった。以前は、句会や吟行には欠かさず参加していたが、今は、施設から、「さざなみ」に毎月6句を投句している。

「好きな食べ物は、寿司、天ぷら、うなぎ。ワイン、日本酒もなめる程度ですが、たしなみますよ～」と、ハッハッハーと笑った。俳句仲間の「希望の星」だという、シツさんの人生と俳句に乾杯！

ひまご はつひいな
歳の差は百の曾孫や初雛 田中シツ

取材・文 石崎純也

第4回 区民講師・公開講座スケジュール

2013年も、区民講師公開講座が開催されます！

◆2月 February

10日(日)	14時～16時	楽しく歌おう童謡	若林 尚司
13日(水)	10時～12時	はじめてのパソコンで葉書づくり♪	ねっ 祢津 順子

◆3月 March

2日(土)	14時～16時	家庭教育はなぜ大切か？	牧 典世
9日(土)	14時～16時	市民後見人入門	中原 芳子
17日(日)	14時～16時	英語で紹介する東京名所	田村 啓一
30日(土)	14時～16時	理系のメガネで真実を知ろう	吉森 正人

◆4月 April

6日(土)	10時～12時	シルバーよ！スタンダードジャズをもう一度	森 剛康
13日(土)	14時～16時	キラキラ百歳への道案内	谷口 勝洋
20日(土)	14時～16時	倅せの食べ方レッスン♪	鎌方 有子
21日(日)	14時～16時	焼き物づくりを体験してみよう	岩田 輝夫
27日(土)	14時～16時	アートセラピストによる はじめての水彩画・花	岡本 奈生子

◆5月 May

11日(土)	10時～12時	良い音で聴こう オーデオコンポ	本間 重男
18日(土)	14時～16時	♪私も弾けるピアノ	松本 千尋
19日(日)	14時～16時	スポーツ記者が見たオリンピックの光と影	佐藤 次郎

※開催月の1ヶ月前に、講座のチラシを配布します。詳細はチラシを参照ください。
申し込みはチラシ裏面にてお願いいたします。主催NPO法人あさお市民活動サポートセンター

相談員紹介

毎号「やまゆり」の市民活動相談窓口の相談員を紹介していきます。



しらいさちこ
白石さち子

仕事から離れ、家に閉じ籠りたくないなと思っていたとき、やまゆりのことを知り、地域活動をはじめから5年、その間大勢の方との出会いと、多くのことを学ぶことができました。時間に余裕ができ、何かはじめてたいとお考えの方、是非やまゆりの「相談窓口」にお越ください。きっと何か見つかると思います。お待ちいたしております。



たなかみきお
田中幹夫

「やまゆり」2次運営スタッフ募集に応募、運営スタッフとしての業務に慣れた頃、相談窓口の担当をやらないかと声を掛けられた。私にできるか不安であったが、区民のお役に立てるならと重い腰を上げた。相談に来られた方が、満足して帰られるかを考えながら業務に従事しています。やまゆりに是非「来て・観て」ください。



にししいけゆきのぶ
西池幸修

地域に戻ったわたしたち、意識下に「つねに何かに関わってほしい」とか「仲間の中にいたい」とかありますよね。そのなかでみなさんはボランティアとか文化活動とかをお探しでしょうか。麻生区には、いろんな分野で活動の先輩仲間がいっぱい…。あなたの参加を待っています。私はそんなあなたの橋渡し役ができればと思います。

Vol.3